

平 塚 警 察 署
土 沢 駐 在 所
☎ 31-0110

つちさわ

令 和 2 年
3 月 号



進級の時期における 少年非行・犯罪被害防止 と有害環境の浄化

少年非行・被害防止は家庭と地域の絆から！

春休みから新年度にかけて、子供たちは進学や進級、就職といった節目を迎える時期となりますが、これに伴って生活環境も変わる時でもあり、非行により検挙

・補導される少年が増える可能性があるほか、スマートフォン等を買与える時期からも、SNS等の利用をきっかけとした凶悪事件への発展や児童買春・わいせつ行為等の性犯罪の被害が懸念される時期でもあります。

県警察では、将来を担う子供たちを非行や犯罪被害から守る活動を推進していますが、この活動をより効果的なものとするためには、警察だけでなく家庭や地域の皆様のご協力が不可欠です。

みんなで声を掛け合い、地域ぐるみで少年の非行や犯罪被害を防止するための活動を推進していきましょう。

◎少年非行・犯罪被害防止について

◎令和元年中の刑法犯少年の概要（令和元年中暫定値）

・刑法犯少年の検挙補導人員は、平成18年以降14年連続で減少しており、昨年は1,506人で前年比344人減少しましたが、約3人に1人が過去に非行を犯したことのある少年でした。



◎少年を特殊詐欺に加担させない！
アルバイト感覚で、安易に詐欺組織に加担し「受け子」と呼ばれる現金やキャッシュカードの受取り役を請け負い、男子だけでなく女子も検挙される少年の事例が増えています。

◎薬物乱用は「ダメ！ゼッタイ！」

覚せい剤や大麻、麻薬等、少年による薬物事件が後を絶たず、令和元年中は特に、大麻で検挙された少年が県内の統計上過去最多になるなど、薬物乱用が大きな社会問題となつています。

◎有害環境の浄化について

◎少年の福祉を害する犯罪被害に遭った少年は432人で、うち被害少女は306人です。

◎SNS利用がもたらす危険性

・犯罪者は理解者のふりをして、子供に近づいてきます。実際に会うのは危険です。

・援助交際には大きな危険が伴います。

なかには、暴力団等の犯罪者から脅迫や監禁等の被害に遭ったケースもあります

・犯罪者に手の込んだ手口を使われると、子供だけでは手に負えないことがあります。

親・先生・警察にすぐ相談を！



令和2年2月中の 土沢駐在所管内事件

(1月20日～2月20日)	
野焼き	1件
火災	1件

当駐在所管内で最近野焼きに対する苦情の通報が増加しています。県の条例では、例外とされているものもありますが、野焼きは原則禁止です。詳細は、平塚市のホームページをご覧ください

巡回連絡にご協力を

巡回連絡とは、警察官が皆さんの「家庭を訪問して地域の犯罪や交通事故の発生状況を確認し、犯罪の予防や交通事故防止等の地域安全情報を提供するほか、皆さんからの警察に対する要望や、意見を伺いして、安全・安心できる街づくりに反映させる活動です。

その際、巡回連絡カードの作成をお願いします。

このカードは、災害や事件事故に遭遇した時、迷子、傷病人、高齢者を保護した時に活用する資料として駐在所に保管しています。

すでにご作成しているお宅には、記載内容にお変わりがないか確認していますので、ご協力願います。



特殊詐欺の被害防止

◎『サギ撲滅の2本柱』

- ①こんな言葉を聞いたらサギだ！
 - ・「キャッシュカードを預かります」
 - ・「ATMで医療費を還付します」
- ②留守番電話設定のお願い！
 - ・犯人は留守番電話を嫌います
 - ・常に留守電話設定を
 - ・留守電が作動する前に取らないで